

バラエティー番組といじめに関する調査

飯田 愛袈 (文教大学情報学部メディア表現学科)

1. はじめに

近年、テレビ離れが進み、オワコン(終わったコンテンツ)とまで言われるようになってしまったテレビだが、かつては「娯楽の王様」と言われていた。日本でテレビの放送が開始したのは、1953年(昭和28年)。テレビ放送開始以来、多くの番組を放送し、多くの視聴者を笑顔にしてくれたことだろう。そのテレビ番組の中でも特に娯楽として楽しまれていたのはバラエティー番組ではないだろうか。現在も多くのバラエティー番組が放送され、楽しんでいる人がいる中で、「バラエティー番組が面白くなくなった」とも言われている。田村は、「“テレビを面白くする”—テレビに関わる者に共通する願いだ。バラエティ番組には、とくにその責任があるだろう」と述べている(田村、2018)。

近頃、バラエティー番組の中でもコンプライアンスという言葉聞くことがある。コンプライアンスとは、企業がルールに従って公正・公平に業務を遂行することである(goo 国語辞書より)。バラエティー番組が面白くなくなったと言われるのは、このコンプライアンスを重視するようになったためではないだろうか。コンプライアンスを重視するようになった一つの理由として挙げられるのが、バラエティー番組は、いじめを助長するという意見があることだ。2000年11月30日の読売新聞に、『「青少年に悪影響」フジとテレ朝の2企画、放送見合わせ』という記事がある。この記事には、「放送と青少年に関する委員会」が二つのバラエティー番組のコーナー企画について、「青少年に悪影響を及ぼす」と見解を発表し、「暴力やいじめを肯定しているとのメッセージを子供たちに伝える結果になる」と批判していることが書かれていた。その後の2001年1月10日の読売新聞には、二つのうちの一つバラエティー番組のコーナー企画が放送打ち切りになったという記事が書かれている。

記事にあるように、実際にバラエティー番組がいじめに影響を及ぼしているとしたら、非常に問題である。

図表-1は、平成20年度から平成29年度までのいじめ発生件数をまとめたものである。毎年、多くのいじめが起こっており、年々件数が増えていることがわかる。

近頃も、いじめが原因で自殺したという子供たちの報道が後を絶たない。いじめ問題は、他人事にはならない。

図表-1 いじめ発生件数（単位：件）

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
小学校	40,807	34,766	36,909	33,124	117,384
中学校	36,795	32,111	33,323	30,749	63,634
高等学校	6,737	5,642	7,018	6,020	16,274
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	118,748	122,734	151,692	237,256	317,121
中学校	55,248	52,971	59,502	71,309	80,424
高等学校	11,039	11,404	12,664	12,874	14,789

文部科学省初等中等教育局児童生活課 「平成 29 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」を基に筆者作成

ここで問題となるのは、実際にバラエティー番組は、いじめに影響を及ぼしているのかということだ。人はバラエティー番組の真似をして誰かを傷つけてしまっているのか。

幼い頃、最初に触れたメディアはテレビだという人が多いのではないだろうか。NHK 放送文化研究所によると、「3 人に 2 人は 1 歳未満でテレビを見始める」のだという(NHK 放送文化研究所、2003)。また、テレビのまねをするのは 1 歳からだという(NHK 放送文化研究所、2003)。母や叔母から聞いた話だが、1999 年、当時 2 歳の私は、ワールドカップバレーボールのイメージキャラクターであった嵐の「A・RA・SHI」をテレビを見ながら、真似をして踊っていたという。そのため、私自身、テレビのまねをするのは 1 歳からというのは、その通りだと考える。このようなテレビからの観察学習行為が、バラエティー番組の真似をすることにつながり、後にいじめへとつながるのであれば、いじめはテレビに影響されていると言えるのかもしれない。

テレビ番組における「いじめ」描写が子供の「いじめ」行為に与える影響に関する研究(佐々木、武藤)では、「いじめ」テレビ番組視聴量の多い子供は「いじめ」行動をすることが多いと立証されているのだが、本調査でも、バラエティー番組の接触量が多い人ほどいじめた経験があるのか、幼い頃からバラエティー番組を視聴している人ほどいじめた経験があるのかということを検証していこうと思う。

また、バラエティー番組について、いじめについて、それらといじめられた経験がある人とない人、いじめた経験がある人とない人との関係性を考察していく。

2. 調査方法

2-1. 調査研究の経緯

4～6月	事前学習 調査テーマ決定
7月	予備調査の調査票作成・予備調査実施
8～11月	本調査の調査票作成
12～1月	本調査実施
1～2月	集計・分析・報告書作成

2-2. 調査の概要

大学生および職員を対象にバラエティー番組といじめの関係性について調査する。

2-2-2. 予備調査

- ・調査時期

2018年7月

- ・調査対象者

文教大学湘南キャンパスの学生30名

- ・調査方法

紙面による自記式アンケートを集合調査でおこなった。

2-2-3. 本調査

- ・調査時期

2018年12月～2019年1月

- ・調査対象者

文教大学湘南キャンパスの学生・職員

- ・調査方法

紙面による自記式アンケートを集合調査および留置調査でおこなった。

- ・調査場所

集合調査

聳塔祭実行委員会のミーティング、文教大学湘南キャンパスで開講されている情報学部の授業にて実施

留置調査

文教大学湘南キャンパス 事務局の各部署

- ・回答数

回収数：203枚 有効回答数：201枚 有効割合：99.0%

2-3. 主な質問項目

- ・テレビ番組の視聴時間、視聴時間帯
- ・頻繁に視聴するジャンル
- ・バラエティー番組の視聴状況、頻繁に視聴しているバラエティー番組および視聴理由
- ・バラエティー番組のイメージ
- ・いじめを助長していると思う(または思った)バラエティー番組について
- ・いじめられたと思われる経験について
- ・いじめ対策の取り組みについて
- ・いじめたと思う経験について
- ・回答者自身について

3. 調査研究の結果

3-1. 回答者について

本調査では「男性」が 44.7%、「女性」が 54.2%、「その他」が 1.1%とやや女性の割合が多かった。年齢層は「10代」が 15.3%、「20代」が 62.8%、「30代」が 3.8%、「40代」が 7.1%、「50代」が 7.7%、「60代」が 3.3%であった。住まいの状況としては「実家暮らし」が 36.2%、「一人暮らし」が 47.0%、「その他」が 16.1%という結果であった。

3-2. テレビ視聴について

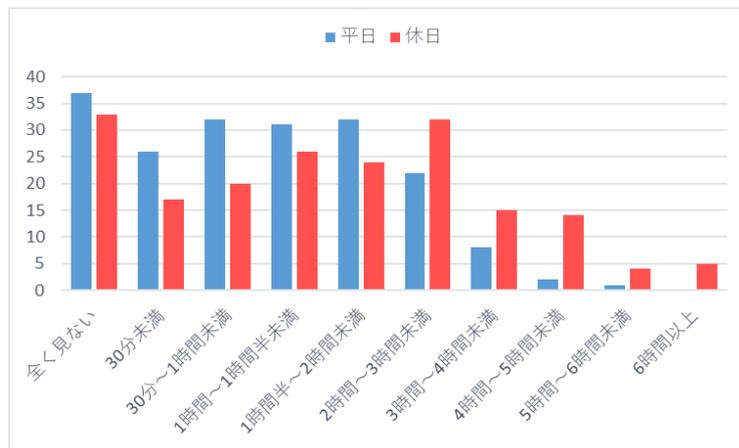
テレビの視聴方法をリアルタイム視聴とタイムシフト視聴の 2 つに分け、それぞれ平日、休日で一日にどのくらいテレビを視聴しているのかを質問した。

リアルタイム視聴の一日平均視聴時間は、平日では、「全く見ない」がもっとも多く 19.4% (37 人)、次いで「30分～1時間未満」と「1時間半～2時間未満」が 16.8%(32 人)、「1時間～1時間半未満」が 16.2%(31 人)であった。休日でも、「全く見ない」がもっとも多く 17.4% (33 人)、次いで「2時間～3時間未満」が 16.8% (32 人)、「1時間～1時間半未満」が 13.7% (26 人)であった。(図表-01)

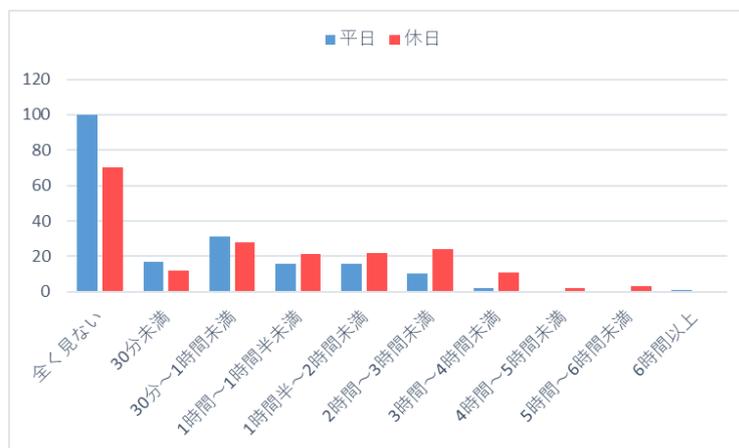
タイムシフト視聴の一日平均視聴時間は、平日では、「全く見ない」がもっとも多く 51.8% (100 人)、次いで「30分～1時間未満」が 16.1% (31 人)、「30分未満」が 8.8% (17 人)であった。休日でも、「全く見ない」がもっとも多く 36.3% (70 人)、次いで「30分～1時間未満」が 14.5% (28 人)、「2時間～3時間未満」が 12.4% (24 人)であった。(図表-02)

これらの間では、テレビ視聴とは別のことをしながらテレビを視聴する「ながら視聴」も含めて回答してもらったが、全てにおいて、「全く見ない」と回答した人がもっとも多いことや、視聴している人でも 1時間前後という回答が多いことから、やはり、テレビ離れは進んでいると言える。

図表-01 リアルタイム視聴の一日平均視聴時間



図表-02 タイムシフト視聴の一日平均視聴時間



性別(その他の回答は除く)によってテレビの視聴時間に違いがあるかをみるため、カイ二乗検定をおこなった。その結果、平日のリアルタイム視聴時間と休日のリアルタイム視聴時間に、性別による有意な差がみられ、女性のほうがよくテレビを視聴していることがわかった。

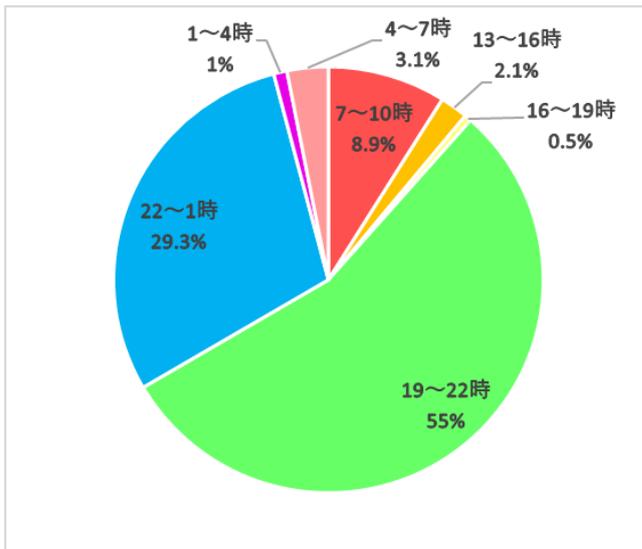
(平日 $\chi^2(8)=21.79, p<.05$) (休日 $\chi^2(9)=20.18, p<.05$)

また、本調査では、年代による有意差はみられなかった。

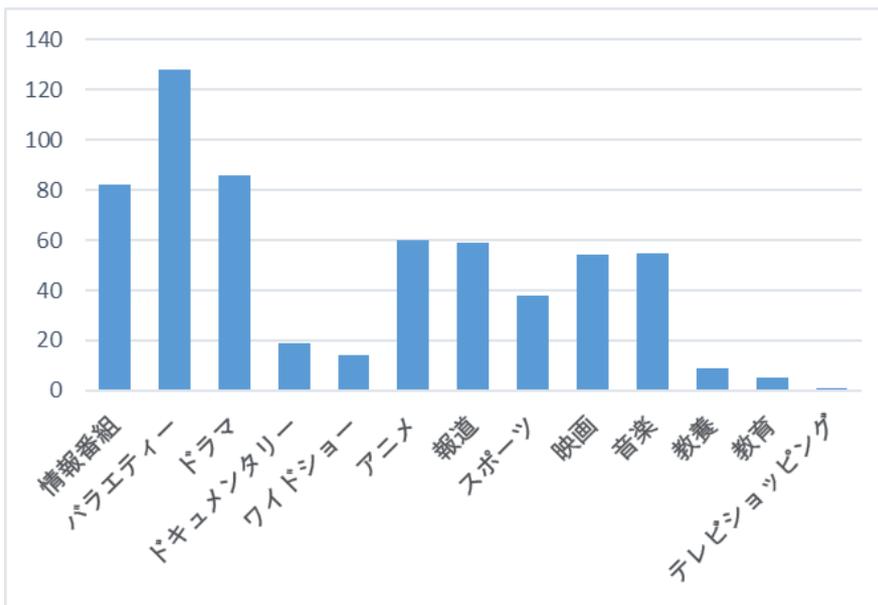
テレビ番組を視聴することが多い時間帯を質問したところ、ゴールデンタイムとも言われる「19～22時」という回答がもっとも多く55%(105人)、次いでゴールデンタイム後の「22～1時」が29.3%(56人)、通学や通勤前であろう「7～10時」が8.9%(17人)であった。半数以上が、多くの人気のあるバラエティー番組やドラマが放送されているゴールデンタイムの19時台～22時台にテレビ番組を視聴しているとわかった。(図表-03)

図表-04は、よく視聴するテレビ番組のジャンルについて質問し、結果をまとめた図である。図を見ると、「バラエティー」が圧倒的に多いことがわかる。多くのバラエティー番組が放送される19時台～1時台にテレビを視聴している人が多いことも関係していると考えられる。

図表-03 もっとも視聴する時間帯



図表-04 よく視聴するジャンル



3-3. バラエティー番組について

一週間に視聴するテレビ番組の中で、バラエティー番組が占める割合を答えてもらい、結果を示したものが図表-05である。半数以上がバラエティー番組をよく視聴するジャンルだと回答したが、バラエティー番組を視聴する割合となると、「6~10%」、「26~30%」という低い割合の回答がもっとも多かった。

しかしながら、バラエティー番組は好きかという問いでは、「好き」が30.7%(61人)、「まあまあ好き」が42.7%(85人)と半数以上が好意的な回答であったため、バラエティーは人気のジャンルであると言えるだろう。

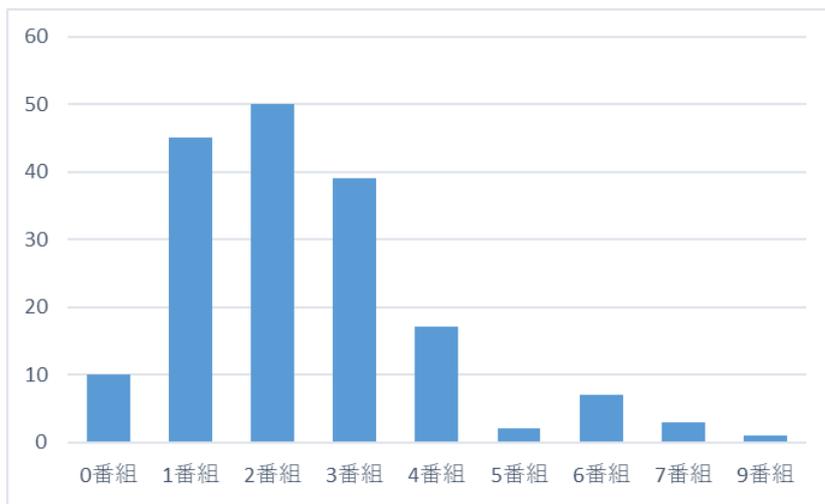
図表-05 バラエティー番組が占める割合

占める割合	N
0%	23人
1～5%	4人
6～10%	26人
16～20%	20人
21～25%	2人
26～30%	26人
31～35%	2人
36～40%	13人
46～50%	23人
56～60%	20人
61～65%	2人
66～70%	15人
71～75%	1人
76～80%	11人
86～90%	4人
96～100%	4人

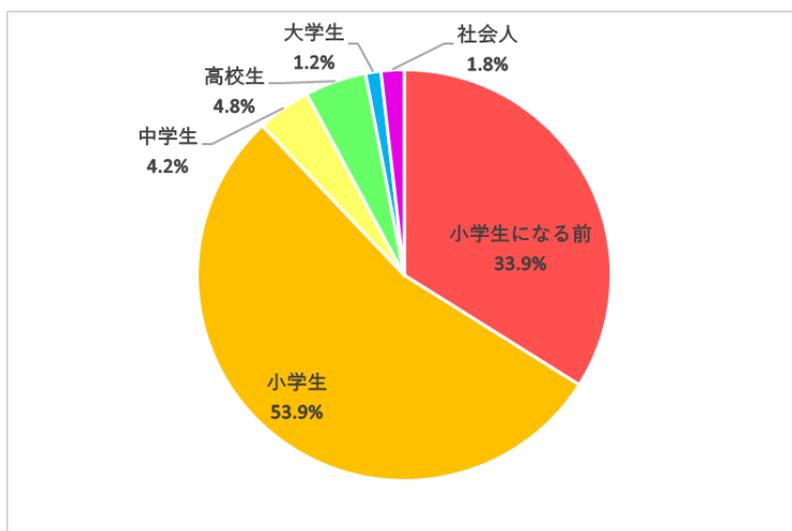
では、具体的にはどのくらい視聴しているのか。現在、日本テレビ・テレビ朝日・TBS・テレビ東京・フジテレビで、それぞれ18時台～1時台に放送されているバラエティー番組を2番組ずつ挙げ、よく視聴している番組を答えてもらった。なお、回答してもらった番組は、『世界の果てまでイッテQ!』、『月曜から夜ふかし』、『アメトーーク!』、『金曜★ロンドンハーツ』、『水曜日のダウンタウン』、『ニンゲン観察バラエティ モニタリング』、『Youは何しに日本へ?』、『ゴッドタン』、『VS嵐』、『さんまのお笑い向上委員会』の計10番組である。図表-06は10番組のうち、いくつかの番組を視聴しているかをまとめたものである。「2番組」という回答がもっとも多く28.7%(50人)、次いで「1番組」が25.9%(45人)、「3番組」が22.4%(39人)であり、少ない傾向にあった。しかし、回答してもらった番組や番組数を変更した場合、結果が変わってくると推測され、図表-01や図表-02で示した一日平均視聴時間を考えてみると、妥当であると言えるだろう。

いつ頃からバラエティー番組を視聴していたと思うかを年齢で聞いたところ、10歳という回答がもっとも多く21.2%(35人)、次いで6歳、7歳13.9%(23人)という年齢となった。その回答を「小学生になる前」、「小学生」、「中学生」、「高校生」、「大学生」、「社会人」と変更したものが図表-07である。多くが小学生の頃にはバラエティー番組を視聴していることがわかった。

図表-06 いくつかの番組を視聴しているか



図表-07 いつ頃から視聴していたか



3-4. いじめについて

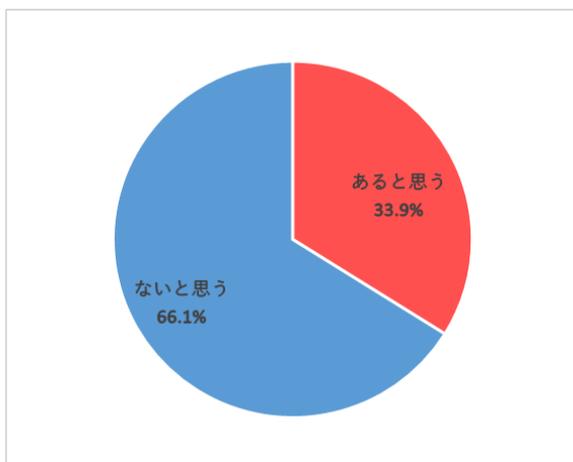
いじめられたと思われる経験の有無を聞いたところ、いじめられたと思われる経験がある人は33.9%、ない人は66.1%だった。(図表-08) また、経験がある人に、どのくらいいじめられたと思われる経験をしたかと聞いたところ、「数回だと思う」が43.8%、「1・2回だと思う」が29.7%、「頻繁にいじめられたほうだと思う」が26.6%、いつ頃いじめられたと思うかと聞いたところ、「小学生」が76.2%ともっとも多く、次いで「中学生」が38.1%であった。

反対に、いじめたと思う経験の有無も聞いてみたところ、いじめたと思う経験がある人は18.1%、ない人は81.9%だった。(図表-09) また、経験がある人に、どのくらいいじめたと思う経験をしたかと聞いたところ、「数回だと思う」が57.6%、「1・2回だと思う」が27.3%、「頻繁にいじめたほうだと思う」が15.2%、いつ頃いじめたと思うかと聞いたところ、「小学生」が69.7%ともっとも多く、次いで「中学生」が36.4%であった。

いじめられた経験、いじめた経験の有無に差はあったが、経験がある人の約半数が経験数は「数回だと思う」と回答していることが同じことや経験の時期が同じような時期であった。

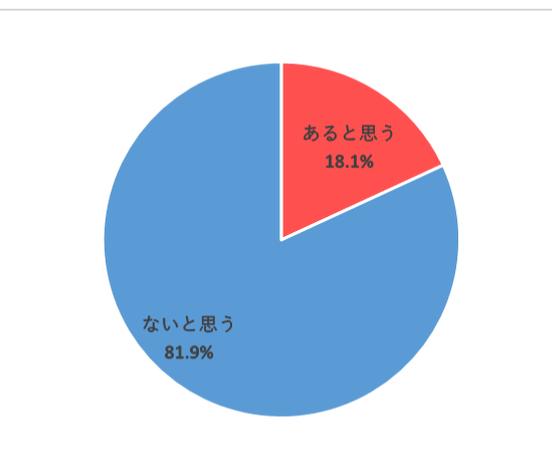
図表-08

いじめられたと思われる経験



図表-09

いじめたと思う経験

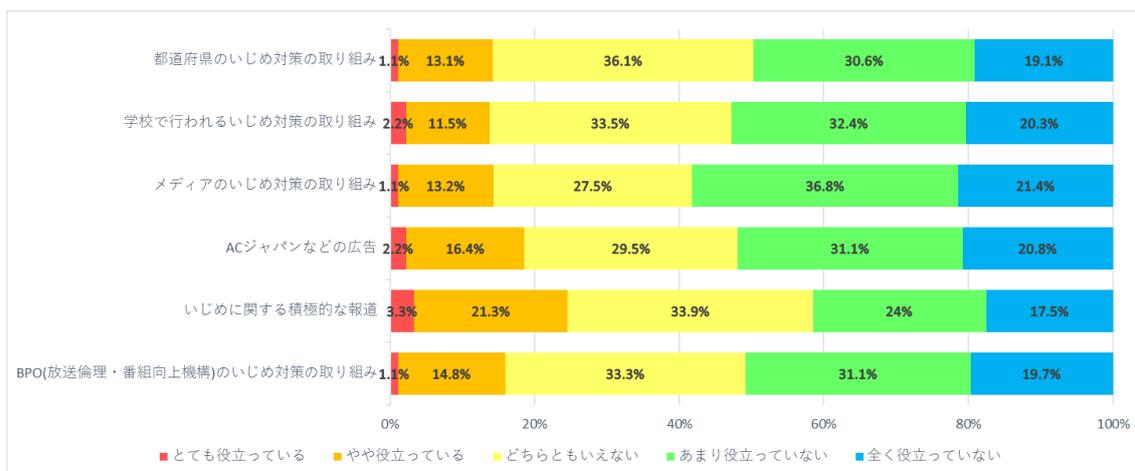


6つのいじめ対策の取り組みについて、「1. とても役立っていると思う」から「5. 全く役立っていないと思う」までの5段階の尺度で質問した。その結果が、図表-10である。全ての項目において、役立っているという回答よりも、役立っていないという回答のほうが多かった。そのため、いじめ対策の取り組みをおこなっていても、意味がないのではないかと感じている人が多くいると考えられる。

6つのいじめ対策の取り組みについて、「いじめられた」「いじめた」経験の有無によってそれぞれ役立ち度の平均値に違いがあるかを検討するため、t検定をおこない、有意差がみられたものをまとめたものが図表-11である。いじめられた経験の有無では、都道府県の実地いじめ対策の取り組みに有意な差がみられ、いじめられた経験がある人のほうが経験がない人よりも都道府県の実地いじめ対策の取り組みは役立っていないと感じていることが判明した。いじめた経験の有無では、都道府県の実地いじめ対策の取り組み、学校で行われるいじめ対策の取り組み、メディアの実地いじめ対策の取り組みに有意な差がみられ、これらの項目において、いじめた経験がある人のほうが経験がない人よりも役立っていないと感じていることが判明した。

次に「いじめられた」「いじめた」経験数によってそれぞれ役立ち度の平均値に違いがあるかを検討するため、分散分析をおこない、有意差がみられたものをまとめたものが図表-12である。いじめられた経験数では、都道府県の実地いじめ対策の取り組み、学校で行われるいじめ対策の取り組み、ACジャパンなどの広告、BPO(放送倫理・番組向上機構)の実地いじめ対策の取り組みに有意な差がみられ、これらの項目において、頻繁にいじめられた経験がある人は他の経験がある人よりも役立っていないと感じていることが判明した。いじめた経験数では、いじめに関する積極的な報道に有意な差がみられ、数回いじめた経験がある人は他の経験がある人よりもいじめに関する積極的な報道は役立っていないと感じていることが判明した。

図表-10 6つのいじめ対策の取り組みについて



図表-11 「いじめられた」「いじめた」経験の有無といじめ対策の取り組み

取り組み	経験の有無	n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率
都道府県のいじめ対策の取り組み	いじめられたと思う経験がある	63	3.83	0.94	2.95	181	.004
	いじめられたと思う経験はない	120	3.38	0.97			
都道府県のいじめ対策の取り組み	いじめたと思う経験がある	32	4.03	1.06	3.26	173	.001
	いじめたと思う経験はない	143	3.43	0.92			
学校で行われるいじめ対策の取り組み	いじめたと思う経験がある	32	4.00	1.14	2.64	172	.009
	いじめたと思う経験はない	142	3.49	0.94			
メディアのいじめ対策の取り組み	いじめたと思う経験がある	32	4.13	1.10	3.03	172	.003
	いじめたと思う経験はない	142	3.56	0.93			

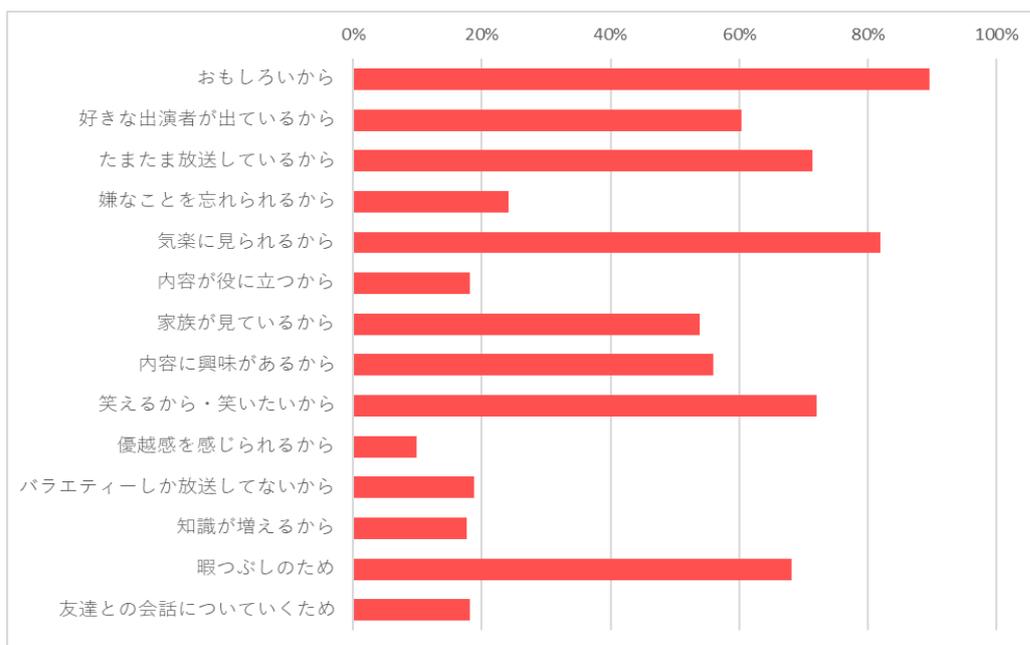
図表-12 「いじめられた」「いじめた」経験数といじめ対策の取り組み

取り組み	経験数	n	平均値	標準偏差	F値	自由度	有意確率
都道府県のいじめ対策の取り組み	頻繁にいじめられたと思う	17	4.29	0.85	6.67	2, 60	.002
	数回いじめられたと思う	27	3.93	0.96			
	1・2回いじめられたと思う	19	3.26	0.73			
学校で行われるいじめ対策の取り組み	頻繁にいじめられたと思う	17	4.41	0.62	9.49	2, 60	.000
	数回いじめられたと思う	27	3.78	1.09			
	1・2回いじめられたと思う	19	3.11	0.81			
ACジャパンなどの広告	頻繁にいじめられたと思う	17	4.12	1.05	3.45	2, 60	.038
	数回いじめられたと思う	27	3.70	0.95			
	1・2回いじめられたと思う	19	3.26	0.93			
BPO(放送倫理・番組向上機構)のいじめ対策の取り組み	頻繁にいじめられたと思う	17	4.18	0.88	6.47	2, 60	.003
	数回いじめられたと思う	27	3.85	0.91			
	1・2回いじめられたと思う	19	3.16	0.83			
いじめに関する積極的な報道	頻繁にいじめたと思う	4	3.00	2.31	4.43	2, 28	.021
	数回いじめたと思う	18	4.17	0.86			
	1・2回いじめたと思う	9	2.78	1.30			

3-5. バラエティー番組を視聴する理由について

バラエティー番組を視聴する理由について、「1. よく当てはまる」から「5. 全く当てはまらない」までの5段階の尺度で質問し、「よく当てはまる」および「やや当てはまる」と回答された割合を示したものが図表-13である。

図表-13 バラエティー番組を視聴する理由について



バラエティー番組の視聴理由をバリマックス回転を用い主成分分析による因子分析をおこなった。因子分析の結果、3つの分析が抽出された。第一因子には「笑えるから・笑いたいから」「おもしろいから」「気楽に見られるから」「内容に興味があるから」「嫌なことを忘れられるから」「好きな出演者が出ているから」という「関心」因子、第二因子には「優越感を感じられるから」「知識が増えるから」「バラエティーしか放送してないから」「友達との会話についていくため」「内容が役に立つから」「家族が見ているから」という「話題」因子、第三因子には「たまたま放送しているから」「暇つぶしのため」という「気分」因子が抽出された。(図表-14)

図表-14 バラエティー番組の視聴理由の因子分析

	1.関心	2.話題	3.気分
笑えるから・笑いたいから	0.796	0.081	-0.024
おもしろいから	0.786	-0.035	-0.026
気楽に見られるから	0.668	0.033	0.255
内容に興味があるから	0.575	0.313	-0.192
嫌なことを忘れられるから	0.499	0.434	0.014
好きな出演者が出ているから	0.461	0.217	-0.255
優越感を感じられるから	0.135	0.734	-0.070
知識が増えるから	0.324	0.682	-0.232
バラエティーしか放送していないから	-0.094	0.678	0.352
友達との会話についていくため	0.327	0.622	0.160
内容が役に立つから	0.412	0.526	-0.388
家族が見ているから	-0.313	0.515	0.148
たまたま放送しているから	-0.112	0.116	0.771
暇つぶしのため	0.482	0.032	0.602

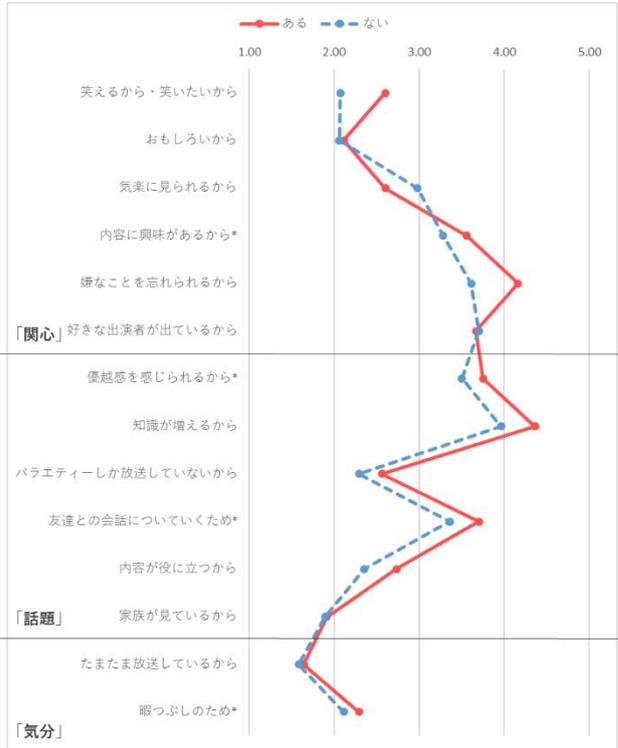
3-5-1. 「いじめられた」「いじめた」経験の有無と視聴理由

「いじめられた」「いじめた」経験の有無によってバラエティー番組の視聴理由に違いがあるかを検討するため、対応のないt検定をおこなった。その結果を示したものが、図表-15・図表-16である。また、有意差がみられたものをまとめたものが図表-17である。

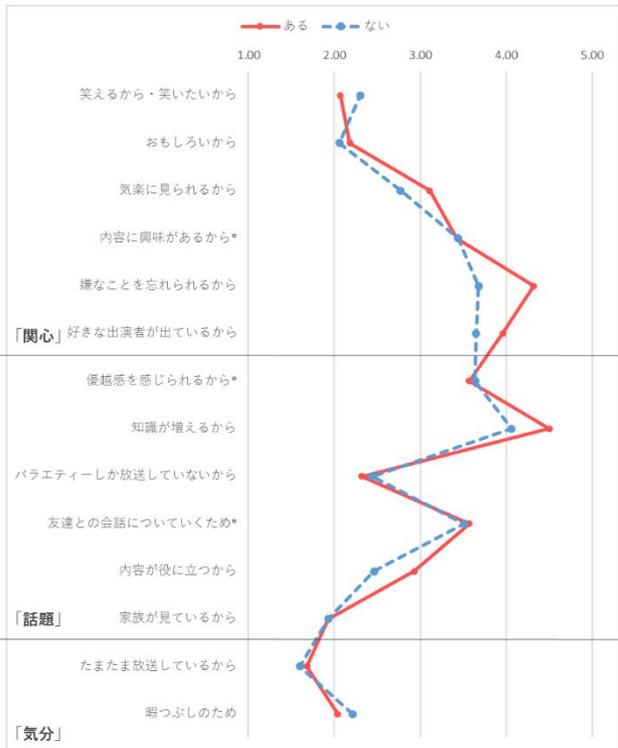
いじめられた経験の有無では、「内容に興味があるから」、「優越感を感じられるから」、「暇つぶしのため」、「友達との会話についていくため」に有意な差がみられ、これらの項目において、いじめられた経験がない人のほうが経験がある人よりも当てはまると感じていることが判明した。

いじめた経験の有無では、「内容に興味があるから」、「優越感を感じられるから」、「友達との会話についていくため」に有意な差がみられ、これらの項目において、いじめた経験がない人のほうが経験がある人よりも当てはまると感じていることが判明した。

図表-15 いじめられた経験と視聴理由



図表-16 いじめた経験と視聴理由



図表-17 「いじめられた」「いじめた」経験の有無と視聴理由

		n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率	因子
内容に興味があるから	いじめられたと思う経験がある	55	2.73	1.06	2.18	159	.031	「関心」
	いじめられたと思う経験はない	106	2.35	1.03				
優越感を感じられるから	いじめられたと思う経験がある	55	4.36	1.00	2.32	132.95	.022	「話題」
	いじめられたと思う経験はない	106	3.96	1.20				
友達との会話についていくため	いじめられたと思う経験がある	55	4.16	1.05	2.94	128.22	.004	「話題」
	いじめられたと思う経験はない	106	3.61	1.26				
暇つぶしのため	いじめられたと思う経験がある	55	2.60	1.23	2.74	96.70	.007	「気分」
	いじめられたと思う経験はない	107	2.07	1.07				
		n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率	因子
内容に興味があるから	いじめたと思う経験がある	28	2.93	1.25	2.13	159	.035	「関心」
	いじめたと思う経験はない	133	2.46	1.02				
優越感を感じられるから	いじめたと思う経験がある	28	4.50	0.96	2.12	45.17	.040	「話題」
	いじめたと思う経験はない	133	4.06	1.16				
友達との会話についていくため	いじめたと思う経験がある	28	4.32	1.02	2.88	45.87	.006	「話題」
	いじめたと思う経験はない	133	3.68	1.25				

3-5-2. 性別と視聴理由

性別によってバラエティー番組の視聴理由に違いがあるかを検討するため、対応のないt検定をおこなった。「笑えるから・笑いたいから」、「家族が見ているから」、「たまたま放送しているから」に有意な差がみられ、「家族が見ているから」、「たまたま放送しているから」という項目では女性のほうが男性よりも当てはまると感じ、「笑えるから・笑いたいから」という項目では男性のほうが女性よりも当てはまると感じていることが判明した。(図表-18)

3-5-3. 年代と視聴理由

年代によってバラエティー番組の視聴理由に違いがあるかを検討するため、分散分析をおこなった。「友達との会話についていくため」、「家族が見ているから」、「たまたま放送しているから」、「暇つぶしのため」に有意な差がみられ、「友達との会話についていくため」、「たまたま放送しているから」、「暇つぶしのため」という項目では10代が他の年代よりも当てはまると感じ、「家族が見ているから」という項目では30~40代が他の年代よりも当てはまると感じていることが判明した。(図表-18)

図表-18 性別、年代と視聴理由

		n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率	因子
笑えるから・笑いたいから	男	72	1.88	0.96	-3.03	159.99	.003	「関心」
	女	90	2.39	1.20				
家族が見ているから	男	72	3.29	1.56	3.47	144.16	.001	「話題」
	女	89	2.47	1.40				
たまたま放送しているから	男	72	2.31	1.15	2.34	159	.020	「気分」
	女	89	1.91	1.00				
		n	平均値	標準偏差	F値	自由度	有意確率	因子
友達との会話についていくため	10代	25	3.28	1.46	3.78	3, 153	.012	「話題」
	20代	102	3.73	1.28				
	30～40代	15	4.33	0.72				
	50～60代	15	4.40	0.63				
家族が見ているから	10代	25	2.80	1.66	4.37	3, 153	.006	「話題」
	20代	102	3.10	1.52				
	30～40代	15	1.73	1.10				
	50～60代	15	2.33	1.29				
たまたま放送しているから	10代	25	1.76	1.05	3.77	3, 153	.012	「気分」
	20代	102	2.01	1.10				
	30～40代	15	2.27	1.03				
	50～60代	15	2.87	0.83				
暇つぶしのため	10代	25	1.88	1.17	7.80	3, 153	.000	「気分」
	20代	102	2.05	1.07				
	30～40代	15	3.13	0.83				
	50～60代	15	2.93	0.96				

3-5-4. バラエティー番組の視聴量と視聴理由

バラエティー番組の視聴量によって視聴理由に違いがあるかを検討するため、視聴量を「バラエティー番組が占める割合」と「視聴しているバラエティー番組の数」の2つに分け、視聴量と視聴理由の相関関係を算出した。

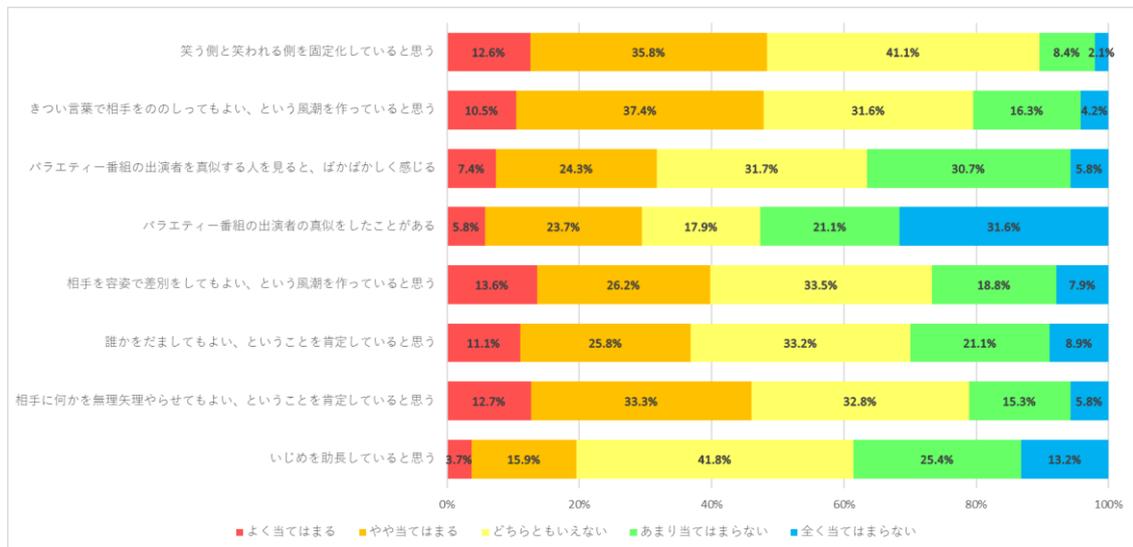
バラエティー番組が占める割合と視聴理由では、「笑えるから・笑いたいから」「おもしろいから」「気楽に見られるから」「内容に興味があるから」「嫌なことを忘れられるから」「好きな出演者が出ているから」（「関心」）、「知識が増えるから」「友達との会話についていくため」「内容が役に立つから」（「話題」）、「暇つぶしのため」（「気分」）という項目において、5%水準で有意な負の相関を示し、バラエティー番組が占める割合が大きいほど、これらの項目が当てはまると感じていた。

視聴しているバラエティー番組の数と視聴理由では、「笑えるから・笑いたいから」「おもしろいから」「気楽に見られるから」「内容に興味があるから」（「関心」）、「友達との会話についていくため」（「話題」）という項目において、1%水準で有意な負の相関を示し、視聴しているバラエティー番組の数が多いほど、これらの項目が当てはまると感じていた。

3-6. バラエティー番組のイメージについて

バラエティー番組のイメージについて、「1. よく当てはまる」から「5. 全く当てはまらない」までの5段階の尺度で質問した。その結果が、図表-19である。

図表-19 バラエティー番組のイメージについて



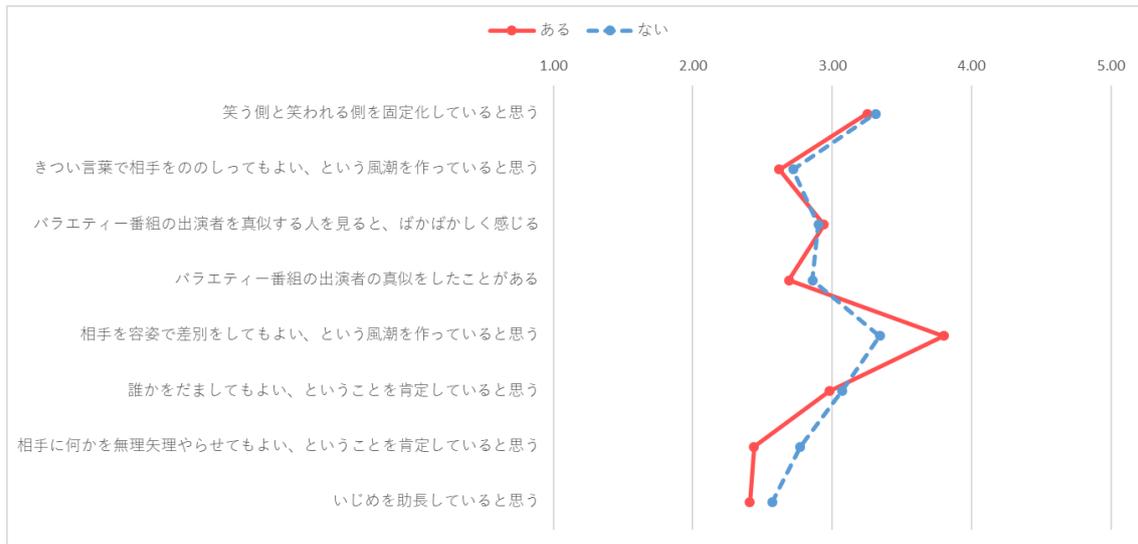
3-6-1. 「いじめられた」「いじめた」経験の有無とイメージ

「いじめられた」「いじめた」経験の有無によってバラエティー番組のイメージに違いがあるかを検討するため、対応のないt検定を実施した。その結果を示したものが、図表-20・図表-21である。また、有意差がみられたものをまとめたものが図表-22である。

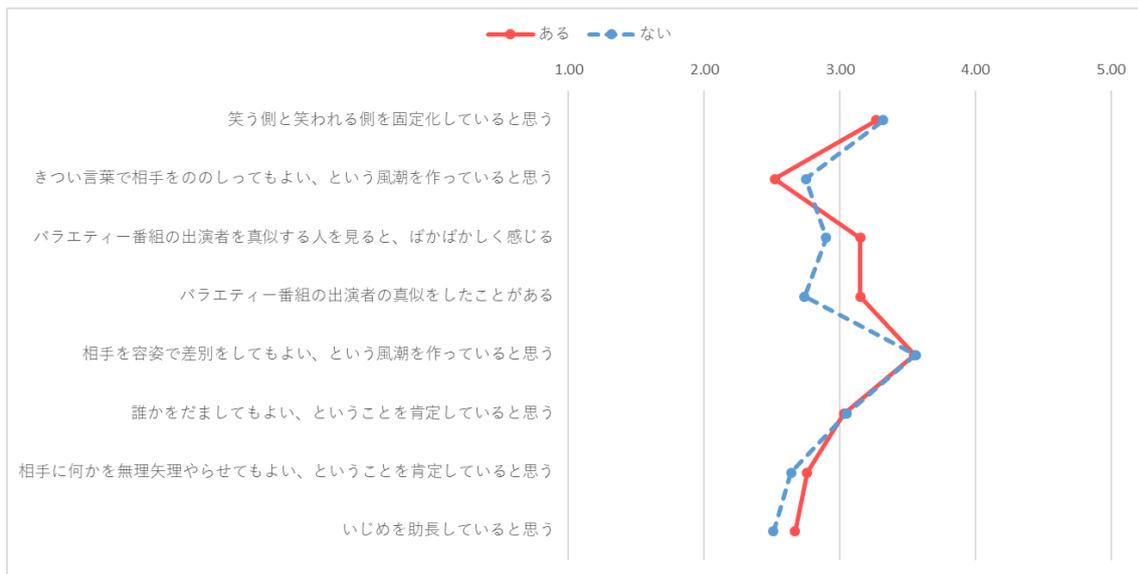
いじめられた経験の有無では、「きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う」「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」という項目に有意な差がみられ、「きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う」という項目は、いじめられた経験がある人のほうが経験がない人よりも当てはまると感じ、「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」という項目は、いじめられた経験がない人のほうが経験がある人よりも当てはまると感じていることが判明した。

いじめた経験の有無では、どの項目においても有意な差はみられなかった。

図表-20 いじめられた経験の有無とイメージ 1



図表-21 いじめた経験の有無とイメージ



図表-22 いじめられた経験の有無とイメージ 2

		n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率
きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う	いじめられたと思う経験がある	64	2.44	0.96	-2.15	184	.033
	いじめられたと思う経験はない	122	2.77	1.03			
バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある	いじめられたと思う経験がある	64	3.80	1.26	2.25	184	.026
	いじめられたと思う経験はない	122	3.34	1.33			

3-6-2. 性別とイメージ

性別によってバラエティー番組のイメージに違いがあるかを検討するため、対応のないt検定をおこなった。「きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う」「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」「相手を容姿で差別をしてもよい、という風潮を作っていると思う」という項目に有意な差がみられ、「きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う」「相手を容姿で差別をしてもよい、という風潮を作っていると思う」という項目では女性のほうが男性よりも当てはまると感じ、「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」という項目では男性のほうが当てはまると感じていることが判明した。(図表-23)

3-6-3. 年代とイメージ

年代によってバラエティー番組のイメージに違いがあるかを検討するため、分散分析をおこなった。「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」という項目に有意な差がみられ、20代が他の年代よりも当てはまると感じていることが判明した。(図表-23)

図表-23 性別、年代とイメージ

		n	平均値	標準偏差	t値	自由度	有意確率
きつい言葉で相手をののしってもよい、という風潮を作っていると思う	男	80	2.85	1.03	2.08	177	.039
	女	99	2.54	0.98			
バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある	男	80	3.20	1.31	-3.29	177	.001
	女	99	3.83	1.24			
相手を容姿で差別をしてもよい、という風潮を作っていると思う	男	80	3.05	1.19	2.39	178	.018
	女	100	2.65	1.06			
		n	平均値	標準偏差	F値	自由度	有意確率
バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある	10代	28	3.39	1.40	3.59	3, 170	.015
	20代	108	3.36	1.32			
	30~40代	19	4.05	0.91			
	50~60代	19	4.21	1.13			

3-6-4. バラエティー番組の視聴量とイメージ

バラエティー番組の視聴量によってイメージに違いがあるかを検討するため、視聴量を「バラエティー番組が占める割合」と「視聴しているバラエティー番組の数」の2つに分け、視聴量とイメージの相関関係を算出した。

バラエティー番組が占める割合と視聴理由では、「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」という項目において、1%水準で有意な負の相関を示し、バラエティー番組が占める割合が大きいほど、当てはまると感じていた。

視聴しているバラエティー番組の数と視聴理由では、「バラエティー番組の出演者の真似をしたことがある」「誰かをだましてもよい、ということ肯定していると思う」「いじめを助長していると思う」という項目において、5%水準で有意な負の相関を示し、視聴しているバラエティー番組の数が多いほど、これらの項目が当てはまると感じていた。

3-7. バラエティー番組といじめの関係性

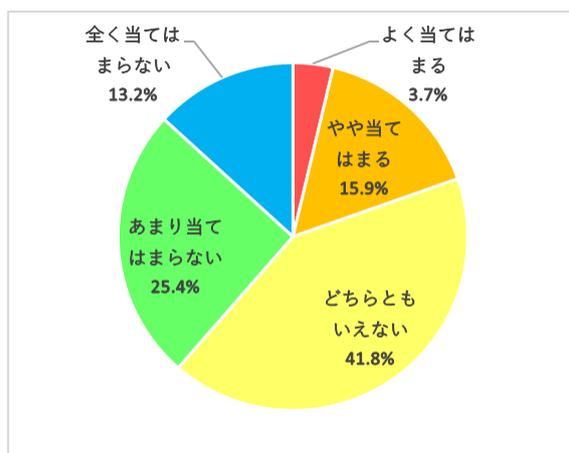
図表-24 は、「1. よく当てはまる」から「5. 全く当てはまらない」までの 5 段階の尺度で、バラエティー番組は、いじめを助長していると思うかという質問をした結果である。当てはまらなと感じている人が多いものの、約 2 割の人は当てはまると感じていた。

いじめを助長していると思う(または思った)バラエティー番組はあるかと聞いたところ、20%が「ある」と回答した。(図表-25)

また、「ある」と回答した人に、番組名も聞いたところ、『アメトーク!』『有吉反省会』『金曜★ロンドンハーツ』『水曜日のダウンタウン』『ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!』『とんねるずのみなさんのおかげでした』『ニンゲン観察バラエティ モニタリング』『ピカルの定理』『めっちゃ×2 イケてるッ!』などの番組が挙げられた。

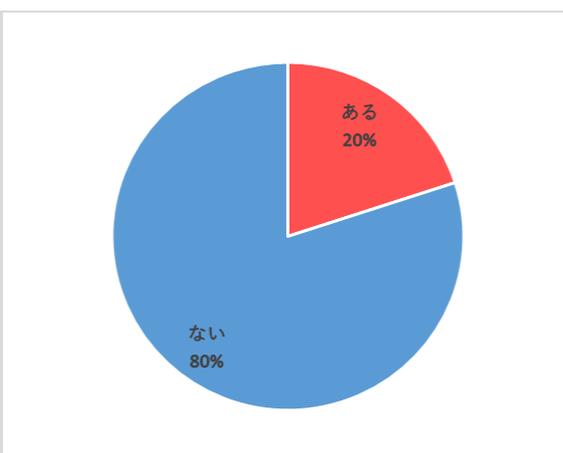
図表-24

「バラエティー番組は、
いじめを助長していると思うか」



図表-25

「いじめを助長していると思う(または
思った) バラエティー番組はあるか」



バラエティー番組を視聴している人ほど、いじめた経験があるのかを検証するため、視聴量を「バラエティー番組が占める割合」と「視聴しているバラエティー番組の数」の 2 つに分け、分析した。

バラエティー番組が占める割合によっていじめた経験の有無に違いがあるかを検討するため、対応のない t 検定をおこなった。この分析では、有意な差はみられなかった。

次に、視聴しているバラエティー番組の数によっていじめた経験の有無に違いがあるかを検討するため、対応のない t 検定をおこなった。この分析でも、有意な差はみられなかった。

バラエティー番組を若い頃から視聴している人ほど、いじめた経験があるのかを検証するため、分析をおこなった。

バラエティー番組を見始めた年齢によっていじめた経験の有無に違いがあるかを検討するため、対応のない t 検定をおこなった。この分析でも、有意な差はみられなかった。

いじめたと思う経験があると答えた人に対して、どのような場面・内容であったかという質問もした。

内容では、自分に対する言葉遣いがおかしかったため、集団で仲間はずれにし、嫌がらせをする、罵る、馬鹿にする、友達をいじる、話しかけられても無視する、言葉攻め、からかった、気に入らない友だちをとにかくさげすんだ、登下校中に置き去りにした、男子集団になって1人のクツや筆箱を隠した、特定の人物を無視する・避ける、障害児を差別した、容姿をからかうという意見があった。

場面では、暴言をはかれたとき、えらそうな態度をとられたときという意見があった。いじめをしている人に便乗した、いじめの主犯格に逆らえなかったので従って無視をしたなどという意見もあった。一方で、いじめ返した、やり返したという意見もあった。いじめの場面や内容がバラエティー番組と関係があるのかを調査するためにこのような質問をしたが、これらのいじめの場面・内容とバラエティー番組の内容に関連があるとは言えないと考える。

4. まとめと考察

近年、テレビ離れが進んでいると言われ、今回の調査でもテレビ離れが進んでいることが明らかになった。そのような中でも、バラエティー番組は人気のあるジャンルであり、多くの人が1つ~3つほど、よく視聴している番組があることも明らかになり、オワコンだ、面白くなかったと言われながらも現在も娯楽として楽しまれていた。

バラエティー番組はいじめを助長しているという意見があるが、今回の調査で、バラエティー番組の接触量、接触時期といじめた経験は関係ないことが証明できた。そのため、バラエティー番組がいじめに影響を及ぼしているとは言い切れないだろう。しかし、いじめの発生件数は非常に多く、いじめが減少していかない限り、今後もバラエティー番組はいじめを助長しているという意見が無くなることはないだろう。

今回の調査では、バラエティー番組といじめの関係性を調査したが、回答者の性格についてなどの質問を加えることで、より深い分析ができたのではないかと思う。

また、調査をおこなう中で、いじめを解決することの重要性を改めて感じた。今回の調査でも、約3割の人がいじめられた経験があり、いじめ対策の取り組みを多くの人が役に立っていないと感じていた。特に、いじめた側が学校で行われるいじめ対策の取り組み、都道府県のいじめ対策の取り組みは役に立っていないと感じていることは問題である。学校や都道府県は、いじめられている子供たちにとって、もっとも近い存在であるため、学校や都道府県はいじめ対策の取り組みは考え直すべきである。

今後もテレビ、バラエティー番組が多くの人の娯楽であり続けること、そして、今後いじめの発生件数が減少することを願う。

5. 参考・引用文献

- ・ 田村 隆 (2018)『昭和バラエティ番組の時代』河出書房新社
- ・ goo 国語辞書「コンプライアンス」
<https://dictionary.goo.ne.jp/jn/84059/meaning/m0u/> (2018年2月閲覧)
- ・ 読売新聞 (2000/11/30) 「青少年に悪影響」 フジとテレ朝の2企画、放送見合わせ
- ・ 読売新聞 (2001/01/10) 「いじめを肯定」「めっちゃイケ！」コーナー企画打ち切りを発表／フジテレビ
- ・ 文部科学省初等中等教育局児童生活課
「平成29年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/01/10/1412082-2901.pdf (2018年2月閲覧)
- ・ NHK 放送文化研究所 (2003)『テレビ視聴の50年』日本放送出版協会
- ・ 佐々木輝美 (1996)『メディアと暴力』勁草書房
- ・ 佐々木輝美、武藤栄一 (1987)「テレビ番組における「いじめ」描写が子供の「いじめ」行為に与える影響に関する研究」『放送教育研究』15巻
- ・ 奥山陽子 (2007)「笑い与健康」
- ・ 中山万里子 (2013)「いじめ経験およびいじめ対策への意識に関する調査：学生アンケートより」『白鷗大学教育学部論集』7巻1号

バラエティー番組に関する調査

2018年12月

所属：情報学部メディア表現学科3年

「メディア調査研究法Ⅲ」

調査員：飯田愛袈

連絡先：b6p51006@shonan.bunkyo.ac.jp

担当教員：日吉昭彦

本調査にご協力いただきましてありがとうございます。

本調査はバラエティー番組についての調査です。

回答者のプライバシーの保護に配慮し、ご回答はすべてコンピューターで統計的に処理しますのでご迷惑をおかけすることは一切ございません。

調査についてのご意見・ご質問がありましたら上記に記載されている連絡先にご連絡ください。

お忙しいところ誠に申し訳ございませんが、ご協力よろしくお願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

1. 調査には、必ず調査票を受け取った本人が回答・ご記入ください。
2. お答えになりにくい質問に関しては、無回答で結構です。
3. 質問への回答は、特に指示のない限り当てはまる項目番号に○をつけてください。
4. ご記入は、鉛筆・シャープペンシル・黒か青のボールペンでお願いします。また、回答を訂正する場合は、前の回答を消しゴムで消すか、×印をつけるなどして、訂正したことを明示してください。
5. 回答方法などについてのご質問がございましたら、調査員にお尋ねしてください。
6. ご記入が終わりましたら、担当者が回収に参りますので指示をお待ちください。
7. 他の授業などでこの調査に回答したことがある方は、お手数ですが担当者にお声掛けください。

【あなたのテレビ番組の視聴状況についてうかがいます。】

Q1. 一日平均でリアルタイム視聴ではテレビをどのくらい見ていますか。平日と休日で、それぞれ当てはまる番号を[]内に記入してください。※ながら視聴も含む。

- | | | | | | |
|---------------|-------------|---------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 全く見ない | 19.4%/17.4% | 2. 30分未満 | 13.6%/8.9% | 3. 30分～1時間未満 | 16.8%/10.5% |
| 4. 1時間～1時間半未満 | | 5. 1時間半～2時間未満 | | 6. 2時間～3時間未満 | 11.5%/16.8% |
| 7. 3時間～4時間未満 | 16.2%/13.7% | 8. 4時間～5時間未満 | 16.8%/12.6% | 9. 5時間～6時間未満 | 0.5%/2.1% |
| | 4.2%/7.9% | | 1.0%/7.4% | | |
| 10. 6時間以上 | 0%/2.6% | | | | |

平日[] 休日[]

Q2. 一日平均でタイムシフト(録画)視聴ではテレビをどのくらい見ていますか。平日と休日で、それぞれ当てはまる番号を[]内に記入してください。※ながら視聴も含む。

- | | | | | | |
|---------------|-------------|---------------|------------|--------------|-------------|
| 1. 全く見ない | 51.8%/36.3% | 2. 30分未満 | 8.8%/6.2% | 3. 30分～1時間未満 | 16.1%/14.5% |
| 4. 1時間～1時間半未満 | | 5. 1時間半～2時間未満 | | 6. 2時間～3時間未満 | 5.2%/12.4% |
| 7. 3時間～4時間未満 | 8.3%/10.9% | 8. 4時間～5時間未満 | 8.3%/11.4% | 9. 5時間～6時間未満 | 0%/1.6% |
| | 1.0%/5.7% | | | | |
| 10. 6時間以上 | 0.5%/0% | | | | |

平日[] 休日[]

Q3. 一日平均でスマートフォン・パソコン・タブレット等ではテレビ番組をどのくらい見ていますか。平日と休日で、それぞれ当てはまる番号を[]内に記入してください。

※ながら視聴、見逃し配信アプリ視聴等も含む。

- | | | | | | |
|---------------|-------------|---------------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 全く見ない | 61.1%/56.3% | 2. 30分未満 | 7.4%/7.9% | 3. 30分～1時間未満 | 7.9%/6.3% |
| 4. 1時間～1時間半未満 | | 5. 1時間半～2時間未満 | | 6. 2時間～3時間未満 | 5.3%/3.7% |
| 7. 3時間～4時間未満 | 7.4%/6.8% | 8. 4時間～5時間未満 | 5.3%/8.9% | 9. 5時間～6時間未満 | 0.5%/1.1% |
| | 3.2%/4.7% | | 1.1%/2.6% | | |
| 10. 6時間以上 | 1.1%/1.6% | | | | |

平日[] 休日[]

Q4. テレビ番組を視聴することが一番多い時間帯はいつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | | | |
|-----------|------|-----------|-------|-----------|------|-----------|------|
| 1. 7～10時 | 8.9% | 2. 10～13時 | 0% | 3. 13～16時 | 2.1% | 4. 16～19時 | 0.5% |
| 5. 19～22時 | 55% | 6. 22～1時 | 29.3% | 7. 1～4時 | 1% | 8. 4～7時 | 3.1% |

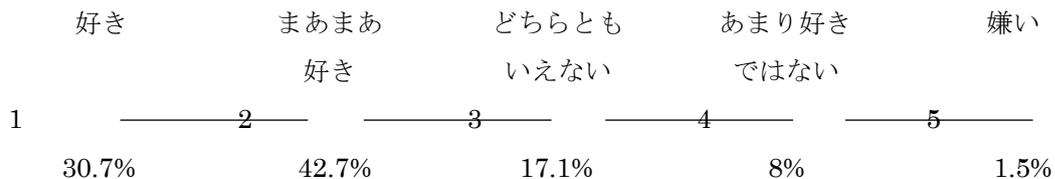
裏面に続きます。

Q5. よく視聴するテレビ番組のジャンルは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---------|------|----------|-----|--------|-----|
| 1. 情報番組 | 41% | 2. バラエティ | 64% | 3. ドラマ | 43% |
| | 9.5% | | 7% | | 30% |

- | | | |
|--------------------|---------------|-------------|
| 4. ドキュメンタリー | 5. ワイドショー | 6. アニメ |
| 7. 報道 29.5% | 8. スポーツ 19% | 9. 映画 27% |
| 10. 音楽 27.5% | 11. 教養 4.5% | 12. 教育 2.5% |
| 13. テレビショッピング 0.5% | 14. その他[特撮] | |

Q6. バラエティー番組は好きですか。当てはまる番号 **1** つに○をつけてください。



Q7. 一週間に見るテレビ番組の中で、バラエティー番組が占める割合はどれくらいですか。[]
内に数字を記入してください。※メディアの種類、視聴方法は問わない。

約 [] %

Q7で0%と答えた方は、Q11に進んでください。

Q8. よく視聴しているバラエティー番組は何ですか。当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

その他にある方は、[]内に番組名を記入してください。いくつでも構いません。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 世界の果てまでイッテ Q! 57.5% | 2. 月曜から夜ふかし 43.1% |
| 3. アメトーク! 31% | 4. 金曜★ロンドンハーツ 12.1% |
| 5. 水曜日のダウンタウン 32.2% | 6. ニンゲン観察バラエティ モニタリング 19% |
| 7. Youは何しに日本へ? 16.7% | 8. ゴッドタン 7.5% |
| 9. VS嵐 13.2% | 10. さんまのお笑い向上委員会 4.6% |

その他

[]

Q9. なぜバラエティー番組を見るのですか。

それぞれよく当てはまる から 全く当てはまらない まで5段階でお答えください。

	よく当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
おもしろいから	53.5	36	7	2.3	1.2
好きな出演者が出ているから	28.7	31.6	17.5	14.6	7.6
たまたま放送しているから	36.3	35.1	15.2	11.7	1.8
嫌なことを忘れられるから	8.2	15.9	24.1	22.9	28.8
気楽に見られるから	36.6	45.3	12.2	1.7	4.1
内容が役に立つから	5.3	12.9	37.4	24	20.5
家族が見ているから	22.2	31.6	9.9	9.9	26.3
内容に興味があるから	15.9	40	25.3	12.4	6.5
笑えるから・笑いたいから	32.6	39.5	14.5	7.6	5.8
優越感を感じられるから	3.5	6.4	21.1	15.8	53.2
バラエティーしか放送してないから	4.7	14.1	24.1	22.4	34.7
知識が増えるから	4.7	12.9	27.1	28.2	27.1
暇つぶしのため	29.1	39	18	8.1	5.8
友達との会話についていくため	5.8	12.3	17	28.1	36.8

Q10. いつ頃からバラエティー番組を見ていたと思いますか。[]内に数字を記入してください。

[] 歳頃

Q11. バラエティー番組のイメージについてうかがいます。

それぞれ よく当てはまる から 全く当てはまらない まで5段階でお答えください。

Q14で1. **あると思う**と答えた方にお聞きします。

Q15. どのくらいいじめられたと思われる経験がありますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 頻繁にいじめられたほうだと思
26.6% | 2. 数回だと思
43.8% | 3. 1・2回だと思
29.7% |
|----------------------------|-------------------|---------------------|

Q16. いじめられたと思われるのは、いつ頃ですか。当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 小学生になる前
7.9% | 2. 小学生
76.2% | 3. 中学生
38.1% | 4. 高校生
6.3% |
|--------------------|-----------------|-----------------|----------------|

Q17. いじめ対策の取り組みは役立っていると思いますか。

	と 思 う	と も も 役 立 っ て い る と 思 う	ど ち ら も い え な い と 思 う	あ ま り 役 立 っ て い な い と 思 う	全 く 役 立 っ て い な い と 思 う
都道府県のいじめ対策の取り組み	1.1	13.1	36.1	30.6	19.1
学校で行われるいじめ対策の取り組み	2.2	11.5	33.5	32.4	20.3
メディアのいじめ対策の取り組み	1.1	13.2	27.5	36.8	21.4
AC ジャパンなどの広告	2.2	16.4	29.5	31.1	20.8
いじめに関する積極的な報道	3.3	21.3	33.9	24	17.5
BPO(放送倫理・番組向上機構)のいじめ対策の取り組み	1.1	14.8	33.3	31.1	19.7

裏面に続きます。

Q18. いじめたと思う経験はありますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. あると思う → Q19へ
18.1% | 2. ないと思う → Q22へ
81.9% |
|--------------------------|--------------------------|

Q18で1. **あると思う**と答えた方にお聞きします。

Q19. どのくらいいじめたと思う経験がありますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|----------|------------|
| 1. 頻繁にいじめたほうだと思 | 2. 数回だと思 | 3. 1・2回だと思 |
|-----------------|----------|------------|

